

基 調 講 演

テーマ

「 気候変動と子どもたち

— 国連ミレニアム開発目標と関連して —

Andrew Skinner
講師 アンドリュー スキナー 博士

水の豊かな富山のみなさんへ

富山のみなさん、こんにちは。これからお話しすることがなぜ重要な問題なのか、みなさんにはわかりにくいかもしれません。なぜなら富山は水が豊富だからです。雨は雲から地面に降って、川や湖に流れ込んだり、しみ込んで地下水になります。蒸発した雨はまた空気中へもどる…この水の循環の中で、人々は貯水池や水がめに雨をためたり、自然に地下にたまった水を井戸を掘って使っています。このとき大切なのは水がきれいであること。そして水道のようなしくみによって安定して届くことです。

大切なのは水が人に届くこと

日本では週に何日かは雨が降ると思います。でも世界には雨がほとんど降らない所や、月に1回、3か月また半年に1回くらいしか降らない所もあります。そのような地域では毎日使う水はためておかなければなりません。しかし重要なのは、どれだけの量の雨が降るかよりも、料理したり洗濯するときに必要な水がきちんと家に届くかどうかです。雨の量が多いのに、人々に水が行き渡らない…そんな問題は特にアフリカで深刻で、アジアやラテンアメリカでも起きています。



水を求める8億8,400万人

現在、世界中で8億8,400万人に安定して水が届いていません。水が手に入らないと、衛生状態も悪くなります。世界人口の約1/4にあたる25億人がきちんとした衛生設備(トイレ)を使っておらず、そのため病気になったり、自分たちが使う水を汚染しています。国連は「ミレニアム開発目標」で、家庭で使える水の量や衛生状態をよくすることを目標にして、2015年の達成をめざしています。あと7年しかありません。おそらく目標は達成できないと予測され、ますます多くの人々が苦しむことになるでしょう。

《基調講演》
演題「気候変動と子どもたち

— 国連ミレニアム開発目標と関連して —
Andrew Skinner

前「AHEAD」エグゼクティブマネージャー
元英国環境庁環境保全局長

Andrew Skinner

Children, Climate Change and the Millennium Development Goals



子どもたち、気候の変化、「ミレニアム開発目標」
(国連が決めた2015年までの国際的とりくみの目標)



気候の変化の深刻な影響

そして気候の変化が目標の達成をさらにむずかしくしています。気候が変化すると、雨の量が減り気温が上がります。一方で集中的に雨が降って、洪水などの災害を引き起こし、農作物にも影響が出ます。貧しい人々はますます飢えに苦しみ、貧しいために教育や医療も受けられず、病気や栄養不足で命を落とす子どもたちもいます。気候の変化は、さまざまなプロセスを経て、衛生状態や死亡率、教育まで影響するのです。目標達成というゴールに向かって走っても、ゴールはどんどん遠くなるようです。

水がなければ生きられない

しかし、だれでも、どこでも、できることがあります。まずは科学や環境に関する知識を身につけましょう。問題を知って理解すると、次に行動に移すことができます。環境に関するさまざまなプロジェクトに参加してみませんか。そしてまわりの大人たちに、未来のために行動を起こすよう呼びかけましょう。水に恵まれた日本に住んでいることは、とても幸運なことです。これから環境について考えるときは、世界中の子どもたちを思い出してください。そして忘れないでください、水がなければ生きられないことを。



※ミレニアム開発目標（MDGs：Millennium Development Goals）

2000年にニューヨークで開かれた国連ミレニアムサミットでつくられた「国連ミレニアム宣言」を中心にいろいろな開発目標をひとつにまとめたもの。貧困の半減など8つの目標が示されています。



Andrew Skinner 博士

プロフィール

元英国環境庁環境保全局長

1989年 国際水文地質学会 名誉事務局長

2002年 ロンドン地質学会 功労賞受賞

2005年 国際水文地質学会 会長賞受賞